

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】令和6年7月8日(2024.7.8)

【国際公開番号】WO2022/065026

【出願番号】特願2022-551850(P2022-551850)

【国際特許分類】

G 01 N 15/06(2024.01)

G 01 N 15/075(2024.01)

G 01 N 15/0205(2024.01)

G 01 N 15/00(2024.01)

G 01 N 15/0227(2024.01)

10

【F I】

G 01 N 15/06 D

G 01 N 15/06 C

G 01 N 15/02 A

G 01 N 15/00 C

G 01 N 15/02 B

20

【手続補正書】

【提出日】令和6年6月28日(2024.6.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

また、上記の分析システムでは、サンプリングプローブにて採取したサンプルガスを流入部に流入させ、第1画像取得部が流入部で流動するサンプルガスに含まれる粒子状物質の画像データ（第1画像データ）を取得し、分析部が第1画像データに基づいて粒子状物質を分析している。

30

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0026

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0026】

また、上記の分析方法では、流入部で流動するサンプルガスに含まれる粒子状物質の画像データ（第1画像データ）を取得し、第1画像データに基づいて粒子状物質を分析している。上記の分析方法においては、粒子状物質を含むサンプルガスが流動している状態の画像データを用いて粒子状物質を分析できるので、流入部に連続的にサンプルガスを流入させて連続的に粒子状物質を分析できる。

40

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0159

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0159】

(2) 分析システムの適用例2

以下、図19を用いて、分析システム100の他の適用例を説明する。図19は、分析

50

システムの適用例 2 の構成を示す図である。図 19 に示す適用例は、分析システム 100 を用いて、燃焼プラント 300 から煙突 320 を介して大気に排出されるガス（粒子状物質 F P）に関する環境保全を図ることを目的としている。燃焼プラント 300 は、粒子状物質 F P を多量に含むガスを排出することがある。このような粒子状物質 F P を多量に含むガスを煙突 320 から大気に排出すると、当該粒子状物質 F P が、燃焼プラント 300 から離れた地域（例えば、市街地に近い地域）にも降下してくることがある。

10

20

30

40

50